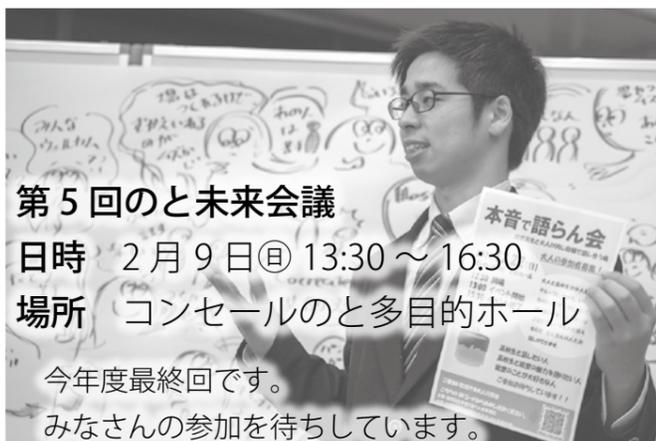


のと未来会議

第4回のと未来会議が12月19日に役場で行われました。やりたいことを始めた人がこれまでの行動を振り返り、グラフィックに描きながら参加者と共有しました。

始めるときに必要なこと、ハードルをどうやって乗り越えたかなどのお話からさらなる気づき生まれ、会場の熱量は高まってきました。

その気づきを踏まえ、自分たちのやりたいことを話し合いました。



第5回のと未来会議

日時 2月9日(日) 13:30～16:30
場所 コンセールのと多目的ホール
今年度最終回です。
みなさんの参加を待ちしています。

能登高校魅力化プロジェクト・まちなか鳳雛塾



■能登高校生「Rakuten IT School NEXT」に参加

能登高校地域創造科では今年度、大手IT企業の楽天が実施した「Rakuten IT School NEXT」に参加しました。このプログラムは国内の高校10校が参加し、北陸3県では能登高校が唯一選ばれました。参加生徒20名は「2030年能登のなりわい」をテーマに、ITも活用して町の「仕事」の未来を創るアイデアを4カ月に渡って考え、11月に行われた校内発表会で「能登の仕事づくりにつながる交流拠点プラン」を提案した1チームを能登高校代表に選出しました。

じる中で各校から特色ある発表が披露されました。能登高校は惜しくも受賞は叶いません



でしたが、堂々としたプレゼンと着実に検討・検証を重ねたプロセスには審査員からとても高い評価を受け、能登高校と能登町の強い印象を会場に残しました。

参加した生徒たちは4カ月弱のうちに予想をはるかに超える成長を見せてくれました。また、こうしたプロジェクト型学習・探究的な学びが高校生を大きく成長させることを、関わったすべての大人に感じさせてくれました。

(プロジェクト・コーディネーター 木村聡)

その代表チームが12月14日に東京で開催された成果発表会で発表しました。この場に立つ喜びと緊張感が入り混



2月のまちなか鳳雛塾スケジュール

塾生の保護者や入塾を考えている方は、随時見学可能です。お気軽にご相談ください。

受講対象者	月	火	水	木	金	土
全学年	16:00～22:00 自律学習開放					
高校生	16:00～22:00	16:00～22:00	16:00～22:00	16:00～22:00	16:00～22:00	14:00～22:00 自律学習開放
中学3年生	19:30～21:00 一斉演習日				19:30～21:00 一斉演習日	
中学1・2年生	19:30～21:00 一斉演習日			19:30～21:00 一斉演習日		
小学4～6年生	16:30～18:00 一斉演習日		16:30～18:00 一斉演習日			

■塾生であれば、開塾時間中はいつでも自習することができます。 ■開塾時間…月～金曜16:00～22:00、土曜14:00～22:00(日・祝は閉塾)
■小中学生は各クラスごとに定員あり。中学生クラスは全学年定員に達しており、募集を停止しております。 ■毎月29～31日は一斉演習を原則休講。自律学習開放は行っています。

☎まちなか鳳雛塾 ひかり電話 ☎ 0768-84-5282 受付時間 ①～⑤の16:00～22:00



まちなか鳳雛塾には駐車場がありません

開催します！「いしかわ海洋教育フォーラム」

海洋教育を支援している里海教育研究所は、2月に取り組みの成果をみなさんに報告・発表します。

■いしかわ海洋教育フォーラム
〜海洋プラスチックごみ問題から考える里海〜開催のお知らせ

日時 2月22日(土) 午前11時～午後4時

場所 金沢海みらい図書館

※入場無料、申し込み不要

内容▽県海洋教育報告会・意見交換会
小本小学校・松波中学校・県立二水高等学校▽「いしかわの海洋教育」ポスター発表▽パネルディスカッション

主催 能登里海教育研究所
共催 金沢大学

環日本海域環境研究センター



2/22 (土)

「海洋ゴミ」をめぐる
スペシャル
パネルディスカッション

海洋プラスチックごみ問題解決への最前線！

今回で2回目となる本フォーラムは、石川県で海洋教育に取り組み学校の実践について報告、交流することを目的にしています。
2019年は、世界的に喫緊の課題として、海洋プラスチックごみ問題への関心が高まった年でした。里海研が支援する学校教育の現場でも、授業のテーマとしてよく取り上げられました。そこで、パネルディスカッションでは、海洋プラスチックごみ問題と海辺の漂着物について、専門に取り組む方に話題を提供していただきます。

漂着物の正体さがし・・・ごみ？それとも宝物？

海洋プラスチックごみ問題を解決するために、スマートフォンアプリ、による画像解析、ドローンなど様々な技術を駆使して取り組んでいるベンチャー企業が日本にあります。一般社団法人ピリカの代表、小島不二夫さんに、解決に向けたアイデアや取り組みなど、海洋プラスチックごみ問題解決の最前線を語っていただきます。

■全国海洋教育サミットで能登の里海教育を発表

一方、海辺を歩いていて見ることができない漂着物は、人間が出したごみだけではありません。漂着物の中には海の環境を教えてくれる宝物もあります。流れ着く漂着物の正体を、あなたはどのくらい知っているでしょうか？子どもの頃から貝拾いにいそしんでいたという沖繩大学の盛口満先生が、海辺の漂着物からわかる生きものや植物の不思議についてお話しします。
会場では、石川県の小中学校、高等学校による海洋教育の活動の様子や授業の成果を伝えるポスター発表、実際の漂着物の展示もあります。私たちの暮らしと海がどのようにつながっているのか、興味のある方はぜひご参加ください。

2月15日、東京大学本郷キャンパスにて「第7回全国海洋教育サミット」(東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター主催)が開催され、小本小学校、当研究所が発表を行います。小本小学校は、能登町ならではの海洋教育の取り組みを、里海研は社会・地域と学校が連携・協働した海洋教育モデルを紹介します。